

みんなのた場

寺崎はねこ踊り

地域交流の促進へ

地区をあげて住民が熱くなる「寺崎八幡神社例大祭」。

4年に一度、9月15日（旧暦8月15日）に開催される例大祭の御輿渡御行列の中で、獅子舞や稚児行列、本御輿、法印神楽等と共ににぎやかに奉納される豊年の踊りです。

ふるさとを代表する民俗芸能として宮城県指定無形民俗文化財にも指定されており、毎年9月第2土曜日には「ものうふれあい祭」はねこ踊りフェスティバル in 桃生でも披露されています。また、昨年は、地域伝統芸能活用センターの2012



2012年ものうふれあい祭より

年度地域伝統芸能大賞の活用賞を受賞。(地域伝統芸能)

大賞・長年にわたり、活動を通じて地元観光や商工業の振興に貢献している団体や個人に贈られる「受賞にあたり、寺崎はねこ踊り保存会は、

「支えてくださる多くのの方々のご理解とご協力を賜り、受賞できたものであります」と述べています。

また、今後の活動や展望については、

「受賞を機に、これまで以上に地域の方々に関心され、愛される『はねこ踊り』としたい。また、『はねこ踊り』を通して地域の方々の交流を促進していきたい。より一層頑張っていきたい」と話していました。これからも、「はねこ踊り」は、地域住民と共に産業振興をはじめ、地域活性化に大いに貢献していくことでしょう。

寺崎はねこ踊り保存会

寺崎はねこ踊り保存会は、1967年に発足。4年後には旧桃生町の無形文化財に、2005年には石巻市、2009年には県の無形文化財にもなった。

昨年9月の「ものうふれあい祭」2012はねこ踊りフェスティバル in 桃生」では1000人以上の踊り手を集めた。



にぎわか家族

70

北上地区・十三浜 (後列左から) 聖奈ちゃん、望奈ちゃん (前列左から) 杏ちゃん、柚ちゃん

〈将来の夢〉

- 佐々木聖奈ちゃん(3) お医者さんになりたい
- 望奈ちゃん(3) 歌手になってほしい(ママより)
- 杏ちゃん(2) 食べ物屋さんになりたい
- 柚ちゃん(2) ケーキ屋さんになりたい

〈両親から〉 双子、姉妹でも、それぞれにオリジナリティがあります。これからも一人一人の個性を輝かせながら、成長してほしいです。

投稿募集

◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとおきの話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールにて秘書広報課までお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたもの全てを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

☎ 秘書広報課(内線4025)

〒986-8501(住所不要)

Eメール ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp



石巻なごみ伝心板

第一回 「ここで終わる キミじゃない」

「もうダメかもしれない」とうなだれた時、それまでのあなたの生き方や性格を知ってくれている人に、こう声を掛けられたらどんなに嬉しい事でしょう。言葉には魂が宿っていると私は思っています。自分自身への「ほめ言葉」を一分間唱えたと、金品の報酬を得た時に変化する脳の中心部が同様に活性化するという報告もあります。脳をお金持ちにするってワクワクしませんか?到来する厳しい冬、どうぞこれらのほめ言葉で心の暖をとりながらお過ごしください。

●プロフィール

南 久美子 (遊墨漫画家 京都出身・在住)

和紙と墨字による独自の画風でユーモアを表現。癒し感覚で人間や人生を風刺する漫画家。

笑いの効力で人々の心をほぐすユーモアセラピストとして、各地で作品展や講演会を展開中。

・京都町ユーモア工房アトリエ「ほっ」主宰

・NPO法人 癒しの「ほっ」代表



まちの話題

石巻地区

演歌キャラバン隊 プロの歌声で魅了

11月23日(金)
万石浦中学校体育館



渡波地区文化講演会「地域復興支援コンサート」(渡波公民館利用連絡協議会主催)が、万石浦中学校で開かれました。日本音楽事業者協会の「演歌キャラバン隊」として演歌歌手の原田悠里さん等5人が、こぶしのきいた歌声を披露し、集まった約700人の観衆を魅了しました。

軽妙なトークや客席で一人ひとりと触れ合う等、応援の気持ちを込めた温かなステージとなり、最後は住民も登壇して「いい日旅立ち」を歌い上げました。

石巻地区

サッカーの楽しさを子どもたちに

12月9日(日)
市総合運動公園



元サッカー日本代表の司令塔、ラモス瑠偉さんが9日、市総合運動公園で「震災復興サッカー教室」を開きました。

この日はラモスさんのほか、永井秀樹さん、三浦淳寛さん等、往年の名選手が会場を訪れました。雪が降る寒い日でしたが、地元からはスポーツ少年団の子どもたち140人が参加。元気にシュートやパスの練習を繰り返しました。ミニゲームの勝利チームとラモスチームとの試合は思わぬ熱戦となり、会場は両者を応援する歓声で盛り上がりました。